

8月1日（オープンスクール挨拶）

口加高校の教育の根本にある考え方

皆さんに質問します。人生において成功するために必要なことは何だと思えますか。10代の若い人たちにこう尋ねると、多くの若者たちはこう答えるそうです。「それは、努力することです。」次に40代、50代の人生経験を積んできた人に同じ質問をしてみる。そうすると多くの人はこう答えるそうです。「成功するために必要なこと、それは人との出会いです。」人生は出会いです。いつ、誰と出会うのかが人生を変えていくということです。

ここに集まってくれた中学生の皆さんには、口加高校で良き仲間と出会い欲しい。良き先輩と出会って欲しい。そして、良き先生と出会って欲しい、そう願っています。私たちは生徒に「先生と出会えて本当によかった」そう言われるよう日々精進し、そういう教師でありたいと思います。

まず前方のスクリーンをご覧ください。「私は価値のある人間だと思う」

中学生の皆さん、この質問に対して皆さんはどう答えますか。数年前、ある研究所が日本と韓国、中国、アメリカの高校生にアンケートをとっています。その結果がこれです。私は価値のある人間だと思っている日本人高校生はわずか約35%しかいません。中国やアメリカの高校生の約90%が自分は価値がある人間だと思って生きています。

では、「私は優秀だと思う」、この質問に対してはどう答えますか。

自分を優秀だと思っている日本人高校生は約15%しかいません。アメリカ人は約90%、中国人は約70%、韓国人は約50%も自分は優秀だと思って生活しています。

では、本当に日本人の高校生は価値がなく、優秀ではないのでしょうか。そうではないはずです。ここにいる皆さんは皆それぞれが価値がある人間で、優秀なんです。でもそう思って生きていないのはもったいないことです。

このスライドをご覧ください。これは日本の昔話の桃太郎です。桃太郎たちは何故鬼を退治できたのか。桃太郎が4人集まっても鬼は退治できません。猿だけでも鬼退治はできないんです。それはそれぞれの強み、長所を生かして、お互いに協力し合って、鬼退治という難題に立ち向かったからです。こうやって社会は成り立っています。猿はキジにはなれません。キジは犬にはなれないし、なる必要もないんです。これからの時代を生きる皆さんに求められていること。それは、自分の強みや長所に磨きをかけていくことです。しかし、人間は自分の強みや長所はなかなか分からないものです。それを見出すのが私たち教師です。そしてみんなの可能性を引き出し、伸ばし磨きをかけること、それが教育なんです。

ここに6種類の植物の種があります。種と言っても、色、形、大きさは皆違います。これからどんな芽が出て、どんな葉っぱが茂り、どんな花が咲き、そ

してどんな実をつけるのか、この段階では誰もわかりません。この種が芽を出すには、土壌が必要です。そして人が水をやり、肥料をやり、また太陽の光を浴びて成長します。

やがてこの一粒の小さな種は、それぞれこんな立派な実をつけます。それぞれが種類も、形も、色も、味も、栄養も違う、個性を持った果物や野菜です。ここにならんだ野菜や果物に優劣がありますか。ありませんよね。比較することに意味がありますか。ないんです。

次は、ここに6人の生徒がいます。それぞれが個性や能力、才能や可能性を持った若者たちです。これからどんな青年に、どんな大人に成長していくかこの段階では誰もわかりません。本人も分からないはずです。人にも育つ土壌が必要です。それが学校です。水や肥料や太陽の光も必要です。それが教育です。誰が水や肥料を誰が与えるのか。それが教師なんです。

皆さんはいくつかオープンスクールに行ったかもしれません。どの高校にも体育館や理科室や図書館やパソコン室はあります。遠足も体育祭も文化祭も修学旅行もあります。施設や行事にほとんど違いはありません。では、何が違うのか。それは教師です。どんな先生と出会うかで人生が変わることがあります。学校選びの一番のポイントはどんな先生がその学校にいるか、だと考えています。どうか口加高校で素敵な先生と出会ってください。

スクリーンに戻ります。この生徒たちにはそれぞれ夢や目標があり、将来、自分の強みや長所を生かして、それぞれのフィールドで生きていきます。

そして、こんな立派な大人、社会人になっていくのです。この人たちに優劣がありますか。ありませんよね。比較することに意味がありますか。ないんです。でも、人はすぐに他人と比較したり、優劣を決めたがります。解散しました。スマップの歌に「世界に一つだけの花」というのがあります。それは「一人一人違う種を持つ。その花を咲かせることだけに一生懸命になればいい」と歌っています。そうなんです。皆さんが抱く夢や目標には優劣はないんです。

その皆さんの夢を語りに口加高校に来ませんか。皆さんの夢や目標を達成するために口加高校に来ませんか。私たちは、生徒に愛情を注ぎ、寄り添い、進路目標を達成させる、そんな口加高校でありたいと思っています。生徒たちの頑張りに全力で応える教師でありたいと思っています。

カナダの心理学者エリック・バーンは言いました。「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」 来年の4月8日、口加高校の入学式です。自分と自分の未来を変えようとする皆さんを迎えたいと思います。一緒にがんばりましょう。

本日はようこそお越しくございました。